



No.30 2011.6.22<sup>発行</sup>  
 群馬県立高崎高等学校 翠巒体育会報  
<http://www5.wind.ne.jp/t2suiran/>

## 新校長に 羽鳥先生赴任



校長  
羽鳥  
進一

### ごあいさつ

バレーボール部が今年の高校総体で32年ぶり3回目の優勝をした瞬間に立ち会い、感動をともにすることができた。桐商との決勝戦は互いに実力伯仲しフルセットまでもつれた。本校のエース砂川君は本県屈指のアタッカーだけに、相手から完全にマークされていた。それでも、要所でバックアタックを決めるなどめざましい活躍を見せた。しかし互いにポイントを取られれば取り返す白熱したシーソーゲームの展開が続いた。試合の流れを決定づけたのは、センター田中君が相手のスパーキーのバックアタックを見事に

ブロックでシャットアウトしたことだった。このプレーで相手の一年生エースの勢いを奪った。そして最大の勝因は、高高生のここ一番の集中力だった。終盤の緊迫した状況でも、思い切りのいいプレーでボールをつなぎ、凡ミスを出さなかった。

土曜日に観戦したバスケの準々決勝も会心の勝利だった。体格で上回る高商を素早いボール回しで終始圧倒した。とりわけ、ガードの中島君の活躍が際だった。まさに司令塔としてゲームをメークし、スリーポイントシュートを次々と決めた。相手のディフェンスが前がかりになると、カットインし自らシュートを打ったり、フォワードにあざやかなパスを出したりと、相手を翻弄した。さらに感心させられたのは、高高のリバウンド力である。身長では高商が上回っていたが、高高生の集中力と俊敏さで、ほぼ7:3の割合で高高がゲットしていた。

◇

高校総体で高高生の活躍を応援した感動の余韻が残る中でこの文章を書いているので、書き出しからついつい観戦記となってしまう。高高校長に就任してわずか50日ほどですが、この間に、硬式野球部のベスト4進出の快進撃に始まり、高校総体ではいくつもの部の活躍を応援することができました。総体の成績は、バレーボール部が優勝、サッカー、軟式野球、柔道、相撲、陸上競技が第3位、バスケがベスト4、登山が関東大会出場と各部が活躍し、野球部で編成した入場行進は優秀校に選ばれ、総合成績は2年連続の第2位に輝くことができました。個人種目では、ソフトテニスで黛・深堀ペア、陸上の5000m競歩で佐藤君、走り幅跳びで齋藤君、八種競技で田代君が見事に第1位となりました(田代君は大会新記録)。

学習面での頑張りと合わせて、生徒たちは文武両道を見事に実現してくれています。生徒たちがこのように活躍できるのも、ひとえに翠巒体育会のご支援の賜と、心より感謝申し上げます。

◇

さて、文武両道について、中国明代の儒学者である王陽明を例に私見を述べさせ

ていただきます。王陽明は陽明学派の祖ですが、科挙に合格した秀才でもありました。官吏としては県知事に任じられ、さらに江西巡撫や南京兵部尚書などの高官を歴任し、1519年には寧王の乱を鎮圧しました。江西巡撫のときには、地方の農民反乱や匪賊の横行に対して、民兵を組織してこれらをことごとく鎮圧しました。まさに文武両道を実践した偉人です。その王陽明が、南方の蛮族の討伐に出かけた遠征先から、都の門弟に宛てた手紙の中に、「山中の賊を破るは易く、心中の賊を破るは難し」という一文があります。「山中に立てこもっている賊を打ち破るのはたやすいが、心の中に巣くっている賊、すなわち、楽をしたい心、遊びたい心、怠けたい心に打ち勝つのは難しい」と述べ、精神修養の困難なことを説いています。王陽明の業績を知り、これを語った状況を知って、この一文を読み返すと、含蓄の重さを感じます。この「克己」「自律」ということこそが文武両道の神髄であると思います。だからこそ、かけがえのない青年期にある高校生にとって、文武両道を追い求めることが、何よりも貴重だと考えます。

今後も、折に触れ生徒たちに文武両道の意義を訴えていきたいと思えます。先輩たちが苦勞して残してくれた伝統を継承して発展させる努力をしているか、たゆまず勉学に精進し、部活に励み、人格・見識を磨く努力をしているか、自分の将来を自分の責任で開拓していこうと努力しているかと。

◇

ところで、問われる前に申し上げますが、私は前高の出身であります。これまでの人生で、自分の出身高校を問われたり確認されたことはほとんどありませんでしたが、この2ヶ月の間に何度となく尋ねられました。それだけ、高高、前高は良きライバルということだと思います。現在の前高の校長は高高OBで、ちょうど両校の校長の出身高校がクロスしています。これはこれでバランスがとれているということでありまして、当然ながら私は高高のために全身全霊で力を尽くす所存であります。どうぞ、今までに倍するご支援ご協力をお願い申し上げます。

東日本大震災で被害を受けられた方々に、謹んでお見舞い申し上げます。  
 被災地の一日も早い復興を翠巒体育会会員一同、心からお祈りしております。

# 新運動部長に 田島先生就任



田島  
正徳

## ごあいさつ

平成23年3月11日(金)に起きた東日本大震災では、多くの方々が被災されました。本校では、一時的に休校や部活動の県外遠征に制限が入ったものの、幸いにして大きな被害もなく、生徒も無事に過ごすことができました。お亡くなりになった方のご冥福をお祈りするとともに、普段と変わらぬ学校教育活動をあたりまえのように実施できることに、あらためて感謝の気持ちを持つ次第です。

そして、翠巒体育会の皆様には、日頃から各運動部活動の後援をはじめとして、様々な面でのご指導ご支援をいただき、誠にありがとうございます。この場をお借りしてお礼申し上げます。

この春の校内人事で、生徒指導主事になられた境原尚樹先生の後を受けて、運動部長としてお世話になることになりました。体育科田島正徳と申します。平成16年度末にご退職された、高橋賢作先生(現在中央大学陸上競技部女子監督)の後任として本校に着任し、現在に至るまで陸上競技部の顧問をさせていただいております。専門種目は円盤投です。陸上競技部の活動においては翠巒体育会の皆様やOB会の皆様にあたたかいご支援をいただき、ようやく軌道に乗り始めてきたところです。今年度から、微力ではありますが高崎高校の運動部

活動のさらなる発展のために、努力したいと思っております。何卒、よろしくお願いいたします。

さて、現在の高崎の部活動状況であります。今年度も運動部は19の部が活動しております。翠巒体育会にご縁の深かった、柔道部顧問の鳥居先生とバレーボール部顧問の塚本先生を始めとして、この春に異動された先生方が多かったため、8つの部で顧問の先生方が交代となりました。新しくお見えになった先生方も積極的に生徒と交流を持っていただき、各部とも益々活動が活発化すると確信しております。運動部所属者数は、561名(1年182名、2年184名、3年195名)であり、運動部加入率は57.9%という状況です。ここ数年と比較して若干少なめではありますが、高崎高校の伝統である文武両道の精神のもと、学業に励みながら部活動で心と体を鍛えております。

昨年度の運動部活動状況は、県高校総体では7年ぶりの総合第2位の成績でありました。(3年前の総合成績第10位が嘘のように)ソフトテニス部・軟式野球部が優勝し関東大会へ、その他もバレーボール部・柔道部・陸上競技部・水泳部・山岳部と冬季では駅伝・スキーで関東大会へ出場しました。沖縄で実施されたインターハイへはバレーボール部が実に12年ぶり(3回目)に出場し、個人では陸上競技部が3名の選手を送り出しました。冬季インターハイへもスキー部が個人で出場し新聞紙面を賑わせました。千葉県国体へもバレーボール部の主力選手が県選抜チームで出場し、個人では陸上競技の110mHで6位に入賞しました。また、広島で行われた天皇盃全国都道府県対抗男子駅伝にも本校生徒が県代表で出場するなど、運動部としては充実した一年であったと思われま。

今年度も春季高校野球大会で硬式野球部が7年ぶりにベスト4に入り、出足よくスタートしました。昨年の新人大会でもバレーボール部が第2位、柔道部が第3位の成績を収めており、県高校総体ではそれ以上の活躍が期待されます。今年度

は県総体の出場選手数も319名と過去10年間では最多人数となっております。各部の地区予選大会も始まりつつあります。昨年度同様、翠巒体育会の皆様に朗報をお伝えできると期待しております。

さて、私見となりますが、ここ数年の高校生の様子を見て感じるところがあります。昔と比べて他人と交流を持つことが苦手な生徒が多く目につくようになりました。また、運動面ではボールが上手く投げられなかったり、スキップができなかったり、鉄棒で逆上がりができない生徒も多数見受けられます。新体力テストの種目にはないので社会に出るデータには表れませんが、現場にいる教師としては目をつぶってられない状況でもありません。子供の遊びの変化や活動環境の制限、幼少期からのスポーツ特化傾向や塾通い等、様々な理由があると思いますが、本校でも残念ながらそういう傾向が見られるようになってきました。運動部活動はとかく競技成績が重視される部分が否定できませんが、スポーツはそれ以外にも毎日の活動を通じ、競技だけではない経験をすることで心と体を鍛え、他人との交流を図っていくことに大きな意義があると思います。楽しいことばかりではありませんし、選手になれない生徒も多くあります。ただ、高校3年間その部活動をやり通したということは、他の誰からも与えてもらえない大きな自信となります。そして、10年、20年、いやもっと後に高校時代を振り返ったときに、青春のエネルギーを燃やして取り組んだ部活とその部員達が生涯付き合える「仲間」として人生に大きく影響してくれたら、運動部顧問としてこれほど嬉しいことはありません。

高崎は、高校として王道を進むべき学校だと感じています。本校教育目標に掲げられる、次代を担うリーダーを育てる学校として、心身のバランスのとれた生徒を育てることが本校の運動部の使命であると考えながら、高崎に脈々と受け継がれてきた文武両道の伝統を継承していけるよう、生徒共々努力していきたいと思っております。

山岳部OB(78期)

税理士 吉井 章一

吉井章一税理士事務所  
高崎市上中居町251 TEL 027-328-6701

山岳部OB(84期)

代表社員・税理士 真下 哲夫

税理士法人 真下経営  
高崎市倉賀野町1713 TEL 027-346-1463

(山岳部79期) 群馬県認定「1社1技術」取得  
地域と共に50年  
リフォーム工房  
株式会社スカワ  
代表取締役 須川 光一  
ハッピーな おフロ  
高崎市倉賀野町1717 ☎0120-827-026  
(倉賀野駅南口・駅前通り) リフォーム スカワ 検査

## 陸上競技部



KIZUNA

永井 正樹(80期)

### 31年前の松山インターハイ

昭和55年8月1日、愛媛県松山市にて「55総体」と称してインターハイが開催された。

我ら高高陸上競技部は、1600mR・加藤隆志君の400mHと私の走幅跳・110mJHの4競技で出場した。顧問は、滝沢武司先生で生徒は7名であった。宿舎は道後温泉だった。

8月2日走幅跳予選。大会の2週間ほど前に踏み切り足の軽い捻挫を発症し、テーピングを予防のために施した。この2週間間走練習も跳躍練習もほとんど行っていなかった。つまり、ハードルにかけていた。案の定、助走が合うはずがなく、1本目は、逆足での踏切となった。しかし、記録は6m76cmで、自己記録に迫るものだった。2本目は、利き足で踏み切れて、6m82cm。3本目は、ファールで予選落選であった。でも、私はこのとき身体の「キレ」と「軽さ」を実感し、ハードルで自己新記録更新を確信した。

1600mRと400mHも予選落選であった。

8月4日110mJH予選。前日までは、好天に恵まれていたが雨降り。振り返ると、県総体・関東大会と私のハードル競技がある日は、全て雨だった。絶好のスタートを切ったが、隣のレーンがフライング。再スタートは、まずまずで14秒95の自己新記録で3着。2着まで準決勝進出

であるが、プラス枠で拾われ翌日の準決勝進出。

8月5日110mJH準決勝・決勝。準決勝は、朝9:30からのレースだったので、4:30に起床した。外は、土砂降りの雨だったので、宿舎内を散歩していた。幸い、大規模な温泉旅館だったので助かった。会場入りすると、雨は益々ひどくなった。予選の時もそうだったが、雨天走路は芋洗い状態であり、しっかりとしたアップができる状況ではなかった。カッパを着て土砂降りの中を補助競技場でアップした。私は3組目で、優勝を狙っていた桐生南高の田村浩之君が1組目だった。雨は、更にひどくなり、ハードルに雨がぶつかり、その水しぶきでゴールがかすんでいた。田村君は4着で決勝進出が、危ぶまれた。3組1レーンの私は、絶好のスタートからトップでゴールした。14秒76の自己新記録だった。何と、決勝進出となった。

決勝前に滝沢先生が、つぶやいた。「永井、7・8着は、何もねえんだいな」当時は、6位入賞の時代で、決勝に残っても7着8着は、本当に何も無いのであった。雨は小降りになっていたが、例によって、カッパを着て補助競技場でアップした。同郷の田村君も運良くプラスで拾われいっしょにアップした。招集所を経てスタート地点へ移動した。決勝のメンバーは、群馬2人・埼玉2人・千葉1人でまるで関東大会である。宮崎県の2年生が、いすに座り足を震えさせていたので、ビリはないと思った。田村君が4レーンで私が5レーンで、これも心強かった。そしてス



永井正樹 昭和55年 インターハイ4位

タート。出遅れてしまった。5台目ではビリ?滝沢先生の言葉が、脳裏をよぎった。後半は、スピードにのりガンガン突っ込んでハードルを越えゴール。フィニッシュの時にインコースで私より後ろに2人見えたので6位以内は、確信できた。田村君はゴール後転んでいた(フィニッシュ時の倒れ込み過ぎ)。田村君は優勝。私は着順がよくわからないまま表彰者控え場所へ移動した。結果のアナウンスがあり、14秒72で4着だった。

以上が、高高陸上競技部2回目のインターハイ入賞の全容である。そして、支えてくださった滝沢先生と仲間たちに紙面をお借りして深謝申し上げます。

この後、30年間高高陸上競技部からインターハイ入賞者が出ておらず、後輩たちには1年でも早くこの壁を打ち砕いて欲しいものである。

最後に、翠巒体育会・群馬県立高崎高等学校・群馬県立高崎高等学校同窓会の益々のご活躍を祈念しております。



KIZUNA

茂原 賢三(89期)

### いつの日か恩師を…

この春までの9年間母校に奉職し、陸上競技部顧問として、時には私自身も含めたOBの方々の思いも伝えながら後輩に当たる生徒たちを指導・支援してきた。同じ学び舎で、同じグラウンドで一所懸命活動している生徒たちに、私自身の高校時代の姿をダブらせた。同時に、指導者として生徒たちに接する際、私の恩師の言葉や教えが甦る。それは、私の恩師が私の目指す指導者としての理想像だからである。しばしば「あの場面なら、先生はああいうふうに指導していただろうな」と想起していた。

私が指導を頂いたのは岩井寿史先生(現在は富岡高校勤務)。86期から100期の方々が指導を頂き、薫陶を受けた。私が入学したときは赴任2年目で30歳代前半、身長180cm以上、俳優の神田正輝にそっくり(と皆言っていた)。かつてア

### 群馬トヨペット株式会社

前橋市石倉町 2-6-5

TEL 027-251-5111(代) FAX 027-252-1251

代表取締役社長 大山 駿作(剣道部71期)

### 高々剣友会

### 会長 藤木 正行

(剣道部69期)

高崎市南大類町1296

TEL 027-352-0026

### (有)カサイ消火器

### 笠井 秀昭

(剣道部56期)

高崎市江木町67-10

TEL 027-321-8222

アジア大会十種競技で、8種目の棒高跳で着地の際マットから外れて骨折のアクシデントを負ったにも拘らず残り2種目をやり抜き優勝した。生徒からは「アジアの鉄人」として畏れられていた。同時に面倒見の良い方で、我々にとっては、「先生」というよりも「親分」。或る時は、喫煙で特別指導を受けた生徒や中央銀座で他校の生徒に暴力を働いて補導を受けた生徒などを陸上部に入部させ、「再生」させた。また休み時間や部活終了後には生徒(子分?)を呼び出してバドミントンやテニスなどの相手をさせたが、これが格好のコミュニケーションの場となっていた。ただし、「アジアの鉄人」に体力・技術ともに到底敵うはずもなく、生徒にとってそれは相当ハードなコミュニケーションだった。冬には部員(子分)全員を引き連れてスキーに出掛けた。教員がプライベートで生徒を引き連れてスキー旅行とはちょっと考えにくい、「親分」にとって部員は、可愛い可愛い「子分」だったのだと思う。

大晦日の恒例行事に『1000点バスケット』がある。高高生のみならず岩井先生のかつての教え子や薫陶を受けた人々が高高体育館に集合して、その名のとおり一方のチームが1000点獲得するまで、随時選手交代しながら朝から晩まで延々とバスケットに興じる(といっても皆必死でプレイする)。途中手の空いた人が昼食用のお切込みを用意してそれを食す。このお切り込みづくりも「親分」のこだわりがあり、厳しい命令(?)を受けながら調理した。中には既に所帯を持っていて、家族総出で駆けつける人もいた。いわば「チーム岩井」の忘年会。暮れの忙しい時にまあよくもこれだけ多くの人達が集まるもんだ、とまだ高校生だった私でさえも、その人望の厚さに感心させられた。

高校2年生の秋、私は心臓を患った。高校・大学と競技を続け、その後体育の教員になるという目標を断念せざるをえなかった。心身共にどん底状態の私は「親分」から「お伴」に任命された。プライ



顧問 岩井寿士先生と89期陸上部員。後列右から3人目が茂原賢三。

ベートの買い物にお供したり、先生のご自宅にお邪魔したり、遠征には必ず帯同させていただいたり…。時々メシをご馳走になった。最も多かったのが市内のインドカレー屋。生まれてはじめてインドカレーを食べた。こうしてあれこれ会話をしながら親身になって面倒見ていただいた。その心遣いが大変有難かった。まさに「恩師」である。ちなみに、高校卒業の際に部員は先生からこの店でご馳走して頂ける。ただし、メニューの選択は不可。「カシミアールチキン」という、最も辛いカレー限定。この「儀式」は「チーム岩井」入会のための儀式みたいなもの。非常に辛い(『つらい』ではない、『からい』)思い出だ。さらにこのお店、私も高高の教員になってから時々生徒を連れて行った。怪我や病気で苦しんでいる生徒、大きな目標に失敗して落ち込む生徒などを連れてきた。そして「オレも高校生の時…」と思い出話をまじえながら、「辛い(からい)」で「辛い(つらい)」を吹き飛ばそうとしてあげた。

こうした経緯があって、私の指導者としての理想像は『「子分」を親身になって大事にする『親分』になった。

現在の私の指導者としての力量は、恩師の足元にも及ばない。目標としては偉大すぎるのかもしれない。が、私も高高卒業生だ。『頬熱く、理想追わなん』(校歌2番の一節より)。

いつの日か、恩師を超えてみせる。それが恩返しというものなんだろう。

## 追記

高崎高校在任中は、翠巒体育会学校事務局および同窓会事務局(会計)を仰せつかっておりました。皆様には大変お世話になりました。在任中のお礼とともに、今後の両会の益々の発展を御祈念申し上げます。



KIZUNA

中山 拓紀(102期)

## 高高陸上競技部という財産

私の高高陸上競技部人生のスタートは、兄の影響により始まった。昔から文武両道であった兄が高高に入学し陸上競技を始め、充実した日々を送っている事が決め手となり、同じ道を歩み始める決意をしたのである。この選択は、今の自分にとっての大きな財産となる。

その財産となる高高陸上競技部のスタートは、入学1ヶ月前に行われた高高グランドでの練習に遡る。その日のメニューは200m(30秒)×20のインターバルだ。中3の時は10本で終わるペースだった為に10本で終わろうと、当時陸上部の顧問であった高橋先生に終了を告げた瞬間である。「この野郎、全然練習してねえじゃねーか!!」と罵声を浴びせられた。驚愕しそのまま最後までメニューをこなしたのは言うまでもないが、この日から私の高高陸上競技部人生の幕が開けた。

1年目は何の気負いもなく練習がこな

認知症介護14年の実績!

共に生きる老人の家 **かがやき入野ホーム**

理事長 **原 到**

バレーボール部OB(78期)

高崎市吉井町小暮568-1 TEL 027-388-5415

税理士 **高橋浩生** バレーボール部OB(78期)

**白井浩一** 水泳部OB(89期)

高橋浩生税理士事務所

〒3700072 高崎市大八木町3002番地10

TEL 027-363-6303 FAX 027-363-6302

URL [http://www.kaikei-home.com/cpta\\_hiro-hp/](http://www.kaikei-home.com/cpta_hiro-hp/)

バレーボール部OB(79期)

**ケンマ商会**

猿谷 稔

〒379-2166 前橋市野中町397-2

TEL・FAX 027-263-1198

せ、順調に記録が推移し、国体の少年B800mでは6位に入賞等。高所のマラソン大会では優勝する事が出来た。それが功を奏したのか(メンバーも揃った時期でもあったので)、初めて関東駅伝出場という快挙を成し遂げた年でもあった。このまま順調に事が運ぼうと冬季練習に励んでいた矢先、筋膜炎等怪我が続発。順風満帆には物事が進まないものである。

2年目からは怪我と精神との葛藤の連続だった。怪我で練習が積めない、思うような結果・成績が残せない。何度も挫けそうになったけれども、厳しかったがいつも真正面から本気でぶつかってくる高橋先生、切磋琢磨しあう仲間、支えてくれる先輩方に囲まれている環境があったおかげで、その負のスパイラルから抜け出す事が出来た。

3年目、ようやく目指していたインターハイに出場することができた。種目は

1500mと800m。1日目、1500mはレース展開が失敗し、予選落ち。3日目の800m予選は自己新で予選通過(当時高校生ランキング5位)。そして準備万端で挑んだ準決勝であったが、残念ながら決勝には駒を進められなかった。周囲への感謝の気持ちを結果で伝える最高の場・22年ぶりの高所陸上部インターハイ入賞者を誕生させるレースだったゆえに多くの周囲を落胆させてしまった。今までで一番悔いの残る試合となってしまった。

それから約1ヵ月後、最後の学校対抗でその機会は訪れた。1日目、今まで県大会では不調で終わっていた1500mで優勝、その勢いで全員の士気を高めつつ、2日目は800mもいいレース展開で優勝し、得点を稼ぐ事ができた。結果として、部員全員一丸となってみんなで試合を戦うことが出来た。強豪私立高校を抑え総合3位にもなった。これは何よりも一

番の恩返しであり、皆と涙で頬を濡らした事を今でも鮮明に覚えている。

卒業後、年月が経つにつれ、当時の仲間との交流が減り、段々と繋がりが少なくなってきている。非常に寂しいものである。そんなある日、陸上部OB会の案内が届いた。初めは年上ばかりで大変だろうと思っていたが、参加してみるとそうではない。温かいのである。回を重ねるごとに親密になり絆ができて、新たな財産が生まれる。高所陸上部のよい所は、そこにあると今思う。

今日、この厳しい世の中を生き抜き、最良の人生を送る為には、このような繋がりが、絆という財産を皆で共有することが重要なのではないかと感じる。最後に、共に陸上競技生活を過ごした仲間、見守って下さったOBの皆様に感謝し、これからもそれらを大切に、過ごしていきたいと思ひます。



# 22 事業報告

- 平成22年 4月13日
- 第1回編集会議
- 5月23日
- 高校OB対抗ゴルフ大会へ援助金
- 高高同窓会ゴルフ大会より預り金を渡す
- 6月1日
- 関東大会出場の部へ祝金
- 6月4日
- 第2回編集会議
- 6月9日
- 監査役会
- 第1回役員会議・理事会議
- 6月23日
- 第35回定期総会・懇親会
- 翠巒体育第29号発行
- インターハイ出場の部へ祝金

- 7月2日
- インターハイ出場の部へ祝金
- 7月25日
- バレー部インターハイ激励会
- 8月10日
- ゴルフ大会役員会議
- 9月5日
- 第20回ゴルフ大会
- 9月17日
- 高校OB対抗ゴルフ大会(出場者慰労)
- 11月10日
- 高崎高校マラソン大会 優秀者表彰
- 12月8日
- 活性化忘年会
- 平成23年 3月1日
- 高崎高校卒業式
- 3月30日
- 第2回役員会議

## 第35回定期総会・懇親会

卓球部/堤 康高(71期)

翠巒体育会の第35回定期総会・懇親会が平成22年6月23日に高崎ビューホテルで開催されました。例年通り高橋浩生会長の挨拶の後、平成21年度事業報告/監査報告/会計報告および22年度事業案/予算案の承認が行われました。

議事の終了後、第18回高崎高校同窓会コンペ(幹事74期)と第109回高中・同窓会(幹事80期)から日程の紹介と参加の呼びかけの挨拶が行われて定期総会が閉会しました。

定期総会に続き、来賓の参加をいただき懇親会が開始されました。

高橋会長、藤倉校長、同窓会長、PTA会長の挨拶をいただいた後、乾杯の発声で懇談が始まりました。各運動部の顧問の先生により高校総体等1年間の結果報告が行われ、その後参加者によりOB会の活動報告とHP掲載用の記念撮影を行いました。

創業明治11年  
総合建設業・一級建築士事務所  
製材・プレカット・アスウッド

ISO-9001  
認証取得

### 株式会社 研屋

専務取締役 清水 正郎 (野球部・75期)  
本社/高崎市飯塚町805 TEL 027-361-5095

野球部OB **ハワイウォーター**

小林 均 (77期)  
有限会社 小金  
〒370-0865 群馬県高崎市寺尾町1614  
TEL 027-325-4411(代) FAX027-325-4445

野球部(OB会長・62期)  
代表取締役社長 **川手 義昭**  
**群馬小型運送株式会社**  
高崎市飯塚町1068 TEL 027-362-1000  
**株式会社 エイテック**  
高崎市中泉町811 TEL 027-372-8111

今回は、平成22年度に交換教諭として高崎高校に赴任中の松代先生(富山・高岡高校)が参加していましたので、翠巒体育会についての感想をいただきました。最後に参加者全員で翠巒を合唱して中締となりました。



●第35回定期総会・懇親会



●インターハイ出場の部へ祝金贈呈



●関東大会出場の部へ祝金贈呈

## 第20回ゴルフ大会団体戦優勝

野球部/清水 元(91期)

9月5日(日)、9月に入っても連日30度以上という記録的な猛暑の中、サンコー72カントリークラブにおいて翠巒体育会ゴルフ大会が、総勢94名、24組で開催されました。

我が野球部は、ここ数年何度となく2位に甘んじてきましたが、計ったかのように第20回の記念大会で、9年ぶりの優勝を成し遂げる事が出来ました。

これは、77期江原功先輩を中心とした出場12人(私のスコアは当然採用されませんでした)の執念と日頃の努力が実を結んだものと確信しております。私も先輩方を見習い精進を重ね、今度こそはスコアが採用されるよう頑張りたいと思います。となれば、必然的に2連覇そして3連覇が近づいて来るはずです。

最後に、大会開催にご尽力いただきました高橋浩生会長をはじめとする幹事の皆様、本当に有難うございました。



●団体優勝の野球部

## 第20回ゴルフ大会 個人優勝

ラグビー部/太田部 功(85期)

ここ最近のゴルフといえば、好不調の差が激しく、ふがいないラウンドばかり…。大きな不安を抱えたままコンペを迎えようとしていた前日、ふと普段良く読むゴルフ雑誌を見てみると「ゴルフは、調子の振幅を小さくする事が重要。その為には自分の最高スコアを伸ばすことよりも、最低のスコアをいかに底上げするかを考えなさい」「調子が悪い時こそ1打1打を大事に、そして絶対にキレてはならない…以下省略」と。久々に、目から鱗が落ちた思いで当日へ。

前半は1オーバー、そして午後も残り2ホールまで1オーバーで、トータル2オーバー。やはり、気持ちの問題だったか? もしや上位も? と思った矢先、敵は思わぬところに、ティーショットを放った瞬間、人生2回目の“こむら返り”で、足を負傷。同伴競技者の献身的な介抱を受け何とか最後までプレーしたものの、その後はトリプルボギー、ボギーでジ・エンド。万事休す、これまでかと思いきや、教訓忘れず最後までキレずにプレーできた御褒美か、その災難がハンディとなり、運をも味方につけ、結果は優勝。



●個人優勝の太田部さん



●高崎高校マラソン大会 優秀者表彰



●卒業式

がんばれ 高崎高校柔道部

目指せ日本一 祝H23関東大会団体出場

柔道部OB会 会長 関口 茂樹 (63期)

わからないものです。「ゴルフは人生に似たり」と、多くのゴルファーが言いますが、まさにその通り。ゴルフを通し、多くの事を学び、成長?している私であります。願わくば、あともう少しゴルフへ行けたら、と日々思うのですが…。(おおっと、寛容な、嫁さん、これは失言でした。)

又、来年皆様と楽しくゴルフを出来るのを楽しみにしております。

●団体戦

順位	運動部名	合計
1	野 球	323
2	応 援	328
3	卓 球	329
4	陸 上	333
5	ラ グ ビ	351

●ネット個人戦

順位	氏名/運動部名	高崎	岩平	グロス	HCP	ネット
1	太田部功(弦)	37	41	78	7.2	70.8
2	庭田登志男(柔)	40	37	77	6.0	71.0
3	立見友孝(弦)	38	38	76	4.8	71.2
4	堤 康高(卓)	38	47	75	3.6	71.4
5	大野俊彦(鱗)	42	45	87	15.6	71.4

●グロス個人戦

順位	氏名/運動部名	高崎	吉井	グロス
1	堤 康高(卓球)	38	37	75

●グロス個人戦(シニア)

順位	氏名/運動部名	高崎	吉井	グロス
1	立見友孝(バスケット)	38	38	76



●ベスグロの立見さん(左)、堤さん(右)



●活性化忘年会(魚とし)



●第20回翠巒体育会ゴルフ大会(サンコー72C.C.)

第1回活性化忘年会

ラグビー部/高山 典久(81期)

平成22年12月8日、第1回の翠巒体育会活性化忘年会が執り行われました。

世代を超えて同窓生の交流を深め未来の翠巒体育会と高崎高校同窓会を活性化させ発展させる事を目的とした集まりでした。年末の多忙な時期でしたが、日頃活動しておられる各部のOB会役員の皆様に加えて、若手(79期以降の会員)の人達に参加して頂く事に成っていました。

往々にして、OB会や同窓会というものに若い世代の人達は、まだまだ興味を持ってないと思います。しかし、このような機会を持ち諸先輩方と多めに飲んで、語り合い交流し親睦を深める事が出来て大変有意義な会でした。

そこでの、新しい交流によって柔軟な発想やアイデアが生まれる事で、現役で頑張っている後輩達に、OB会としてより良いサポートや支援をする事が出来れば、新たな伝統を築いてもらう手助けに成ると思いました。

今回は、今回不参加だった部の皆さんにもぜひ参加して頂きたいと思います。

22年度 翠巒体育会収支計算書

自平成22年4月1日 至平成23年3月31日

科 目	金 額	摘 要
<b>収入の部</b>		
年会費収入	350,000	@25,000×14部
同窓会補助金	300,000	高崎高校同窓会
広告費収入	210,000	@15,000×14部
親睦会収入	238,000	平成22年6月23日 高崎ビューホテル
ゴルフ大会収入	334,500	平成22年9月5日 サンコー72カントリークラブ
活性化忘年会収入	172,000	平成22年12月8日 魚とし
雑 収 入	231,000	同窓会ゴルフ補助金、祝金 会議個人負担、寄付金
受 取 利 息	199	群馬銀行
(当期収入合計)	(1,835,699)	
前期繰越収支差額	681,318	
収入の部合計	2,517,017	
<b>支出の部</b>		
総会・親睦会費	415,603	平成22年6月23日 高崎ビューホテル
現 役 補 助 金	206,000	関東大会、インターハイ等 出場の運動部、 マラソン大会、OB対抗ゴルフ
会 報 発 行 費	337,995	「翠巒体育」第29号
ゴルフコンペ費	277,869	平成22年9月5日 サンコー72カントリークラブ
活性化忘年会費	258,000	
慶弔見舞金	31,300	
事務用品・通信費	40,228	
会議運営費	199,342	編集会議、役員会議等
銀行振込手数料	840	群馬銀行
(当期支出合計)	(1,767,177)	
特別会計拠出金	0	特別会計への拠出金
支出の部合計	1,767,177	
(収支差額)	( 68,522)	(当期収入合計)-(当期支出合計)
次期繰越収支差額	749,840	収入の部合計-支出の部合計

財産目録 平成23年3月31日現在

科 目	金 額	摘 要
<b>資産の部</b>		
現 金	2,472	現金手許有高
預 金	747,368	群馬銀行高崎栄町 (普通0783238 一般会計分)
正 味 財 産	749,840	

特別会計 平成23年3月31日現在

科 目	金 額	摘 要
<b>資産の部</b>		
普 通 預 金	700,985	群馬銀行高崎西 (普通0593363 特別会計分)
特別会計財産	700,985	前年度より利息148円が増加

口座振込ご利用の場合は、下記口座までお願い致します。

群馬銀行 高崎栄町支店 普通預金0783238

スライタイクカイ カイケイ ヨシショウイチ  
翠巒体育会 会計 吉井章一

花園へ! トライ

高崎高校 ラグビー部OB会 会長 内田美樹(77期)

# OB 各運動部OB会の近況報告



## 硬式野球部

吉井 剛  
(80期)

OB会の活動としては、例年通り総会・選手激励会などの行事を継続しました。現役選手への支援を中心としながらも、OBチームである翠巒クラブ(軟式野球 壮年チーム)を結成し、野球を通してOB同士の交流も深めていきたいと考えています。今回は、この翠巒クラブの活動について報告させていただきます。(以下、私自身の思い入れの強い部分がありますが、ご容赦いただきたいと存じます。)

現在、翠巒クラブ最年長選手は、中村康晴(73期)先輩です。中村先輩と言えば、「右の江川」「左の中村」と言われた関東を代表する投手です。春季関東大会で作新学院と対戦したとき、中村先輩は江川投手からヒットも打っています。(私は、小学生でしたが、江川と対戦した高高的の記憶は鮮明です。)



【ベンチの様子】

そして、翠巒クラブを統率するのが、清水正郎(75期)先輩です。清水先輩は、秋季関東大会で原辰徳(現巨人軍監督)のいる東海大相模と対戦しています。(中学生の私は、原選手、津末選手、村中選手のいたスター軍団と高高が対戦したことが信じられなかったです。それほど強い印象があります。)当時は地元の私立高校が「打倒高高」を目標に練習に取り組んでいたという話も聞きました。まさに、高高的の黄金時代です。そうした先輩方と一緒にプレーできるだけでも夢のよう



【伊藤の力投】

です。つくづく高校野球っていいなあと思える瞬間です。OBの皆様もぜひ、往年のスタープレーヤーの珍プレーを見て、応援して、団結を深め、現役選手の甲子園出場の際には、一緒に甲子園で「翠巒」を歌いたいと願っております。

他にも、県ベスト4投手の小林均(77期)・大野和弘(79期)の両先輩・伊藤裕介(87期)や甲子園出場組の宮下洋之(81期)、富岡高校の広木投手(のちロッテ)から幻の本塁打を打った鈴木弘康(78期【昭和59年～61年 高高監督】)先輩など多士済々のメンバーがおります。昨年、今年と県実業軟式野球の県大会に出場しております。高高野球部が甲子園出場を果たす

か、翠巒クラブが全国大会に出場するか、いい意味で競い合いながら現役選手にエールを送っていきたいと思います。



【県大会出場を決めて】



## 陸上競技部

波多野 重雄  
(77期)

平成23年4月1日。高高陸上部OB会を震撼させる記事が新聞紙上に掲載された。OBの一員で有り、高高陸上部の長距離ブロック監督として県高校駅伝で常に入賞・関東大会出場を果たし、また、翠巒体育会の担当職員として、この会報作成にも大きく関わってきた茂原賢三君が、藤岡中央高校に転勤となったのだ。茂原君の新天地でのさらなる活躍を祈念します。さて、昨年度から木村隆一会長の下でスタートした陸上部OB会だが、役員若返り(?)をさらに進めるべく、私波多野と80期永井正樹君が副会長に就任した。また、茂原君には翠巒体育会とのつながりを継続する意味で、今期から編集委員となっていた。OBの方々には新体制での陸上部OB会によりいっそうのご協力をお願いいたします。本年度のOB会総会は7月22日(金)18:30より高崎神社高崎ホワイトインで開催します。多くのご参加をお待ちしております。



## テニス部

濱名 和也  
(84期)

テニス部員の皆様、こんにちは。高経附で硬式テニス部の顧問をしている濱名です。今年は元気をモットーに生徒の心と技術を鍛えて、高高テニス部とよきライバル関係をきづけたらと思っています。

今年のOB総会は、8月13日(土)の13:00より高崎高校テニスコートをお借りしてテニス大会を開催する予定です。現役諸君も是非コートに足を運んでください。もちろん夜の部も開催いたします。詳しくは85期の北村君が運営する高崎高校テニス部OBのホームページにも載せていきますのでご覧ください。HPアドレスは<http://ttob.web.tc2.com>です。こちらより参加・不参加の連絡もできます。よろしくお祈りいたします。

最後に高高テニス部の弥栄を祈念いたします。

「Brand New Start ~新たな前進~」  
優勝目指せ!!  
高崎高校サッカー部OB会 会長 清野 哲雄(74期)





**剣道部**

小池 政一  
(77期)

高高剣道部OB会(高々剣友会)も、今年度60周年を迎える。今秋、祝賀会を行う予定である。例年、新年総会・懇親会を1月3日に開いているが、会員350名を超えたものの、出席者は40名程度であり、少々寂しさを拭い得ない。60周年記念祝賀会では、しばらく顔を合わせないOBや、特に若手OBにも参加してもらい、今後の剣友会の活性化に弾みをつけたいところである。



【例年行われる1月3日の新年稽古会】

さて、剣友会にとって、今年度は4月より幸先のよいニュースが入ってきた。現会長の藤木正行氏(69期)が「ねりんピック大会」の県予選で優勝し、秋に行われる熊本大会出場を決めた。今年還暦を迎え、出場の権利を得ていた藤木氏にとって、初出場である。ぜひ、本大会での活躍を期待したい。

また、5月に京都で行われた剣道八段審査会(剣道における最高段位の審査で毎回合格率1%余り)において、剣友会から藤木氏・小池(筆者)が1次審査を通過したことも特筆にあたいする。残念ながら、2次合格はかなわなかったが、全国から集まった約1500人の中から、合格率10%余りの1次審査を通過できたことは、県内剣道愛好者に希望を与えたと自負している。

近年、若手のOB会参加率が低いのが課題であるが、幸い卒業しても剣道を愛好するOBも増えてきている。そうしたOBを核に、今後、剣友会の輪を広げていきたいと考えている。



**サッカー部**

梅澤 義宣  
(81期)

いかにして現役のみんなの支援ができるか?OB会の大きな目的のひとつです。

OBは、まず、群馬県リーグに登録している“翠巒クラブ”で活躍しています。今年は3部リーグに降格してしまったので、この1年で2部再昇格を目指しています。群馬リーグも2部の上位はかなりのレベルですネ。現役諸君も2部で優勝は難しいだろうな。40歳以上になるとシニア40リーグがあります。そこでは“翠龍ミドルFC”として活動しています。前高の“蛟龍クラブ”と“翠巒”から、ひと文字ずつ取ったネーミングです。基本的に両校OBの合同チームって訳です。50歳以上のシニア50リーグは、高高色はかなり薄れ“FC高崎50”で頑張ります。このように各年代でサッカーを楽しむ土壌ができあがっています。中町クンのようにJリーグで活躍する選手が出ることは、OBとしても誇らしいことですが、プロで活躍ともなると個人の才能によるところが大きい。僕らサッカーに関わる者が意識

してできることは“生涯サッカーの環境づくり”だと思うのですが、いかがでしょうか?

例年のように、正月の初蹴り会、夏の前高との交流戦で、現役のみみんなも交えてボールを蹴ってますが、現役諸君との直接の交流は、その2回くらい。直接の支援はなかなかできるものではありませんが、先に述べたように、自分たちのサッカーへの関わり方を見てもらって、若いみんなに色んなサッカーの在り方を考えてもらうきっかけは十分に作れてると思います。現役のみみんなは、前高は“敵”として戦う訳ですが、40過ぎれば“仲間”として戦うこととなります。重要な示唆がありますネ?僕らOBは、現役のみみんなに直接してあげられることなんて、たいしてないけど、こうやってうしろ姿で何かを示すのは僕の好みのやり方です。高校サッカー燃え尽き症候群も、サッカーへのひとつの関わり方としてあっていいでしょうけど、70歳になって、緑の芝生の上で、ボールを追っかけて汗を流す姿は素敵じゃないですか?



**ラグビー部**

相澤 悦朗  
(88期)

ラグビー部OB会では、現役部員とOBがグラウンドで一緒にボールを追うことによって結束を強めることを目的に「高々ラグビー祭」を

2008年から行なってきました。他校を招いての現役による試合、35歳以上と以下に分かれて県内猛者チームを相手に戦う対抗戦の後には参加者全員でBBQを囲みながら歓談し親睦を深めています。このBBQ大会では卒業したての新OBや新一年生の紹介、我がOB会が誇る真下昇先輩(日本ラグビーフットボール協会副会長)より例年贈られる日本代表グッズを目玉としたビンゴ&オークション大会などで大いに盛り上がります。ラグビーでは試合の後に杯を傾け互いをたたえ合う“アフターマッチファンクション”という伝統がありノーサイドの精神をよく表していますが、「高々ラグビー祭」ではまさに敵味方、老若男(女は一部のみの)垣根をこえてラグビーを愛する者の笑顔があふれています。

今年は3月11日に起こった震災を受け、例年の趣旨に被災地支援の目的を加え「東日本大震災チャリティーマッチ」と題して3月26日に行ない、参加費とオークションの収益金、受付に設置した募金箱への浄財など合わせて251,542円を義捐金として上毛新聞厚生福祉事業団に寄託しました。なお、内田OB会長はこれに先立って釜石の仲間のもとへ県内ラグーマンから集まった救援物資をトラックで届けており、被災地の状況などの報告も合わせての趣旨説明は200人余りの参加者の胸を打ち賛同を得るに充分なものでした。

ラグビー部OB会では今後も年一回の新年総会・懇親会と「高々ラグビー祭」を活動の軸として継続し、OBの結束と現役支援を図ってまいります。また、活動の内容は「高崎高校ラグビー部OB会ホームページ」でも紹介していますのでぜひご参照ください。

硬式テニス部OB(84期)

**山口正仁**

オーダーメイドの生命保険をお届けしています!  
ブルデンシャル生命保険株式会社 町田支社  
TEL 042-710-2471 携帯090-9309-9492

硬式テニス部OB(83期)

**長谷川 酒店**

焼酎・ワインetc.各種取り揃えております。  
**長谷川 泰三**  
高崎市栄町20-1 TEL 027-323-2505

硬式テニス部OB(91期)

**原 寛**

**カネト水産** つりばり・虹鱈料理・手打ちそば  
高崎市倉沢町川浦3900-156 TEL.027-378-3132  
ホームページ <http://www8.wind.ne.jp/wakaba/>



**山岳部**

吉井 章一  
(78期)

現役生の総体での成績は、最近特に目覚ましく、関東大会に度々出場するという結果を出しております。

昨年は交流会と称して現役生と意見交換を行い、どのような形で支援ができるか参考とさせていただきます。昨年度は新入部員が多かったことから部費は TENT 購入に充当したため、ザックを希望するとの意見を伺い、早速実行いたしました。総体でのさらなる好成績を期待しております。

近年はOB会員自身も、会長をリーダーとして近場の山にチャレンジしております。昨年は官ノ倉/石尊山に登ってみました。

以上の内容については山岳部OB会のホームページにて写真付きで紹介させていただいております。翠巒体育会のホームページよりリンクできますので是非ご覧になっていただきたいと思います。



**応援部**

藤井 正弘  
(81期)

1月13日(木)に新年総会および懇親会を魚仲で行いました。藤倉校長(この春定年退職)にもご出席いただき、応援団旗を支える革ベルトを新調し寄贈いたしました。また、1月22日(土)の第109回同窓会懇親会では、これまでの最多となる羽織袴姿のOBおよそ20名がステージにあがり、校歌ならびに応援歌のリーダーをつとめました。



[同窓会懇親会にて丸山前会長・永井前会長・秋山会長を囲む羽織袴姿の歴志]

現役部員との関わりは、3月と5月の校内合宿、夏の高校野球県予選大会応援の際に、出向き祝金を贈呈しています。合宿では、学生OB中心に実技指導を委ねている状態です。

現役は現在新1年生が5名入部し一安心。高校総体の軟式野球での応援(5月13日・西毛球場)ではサブリーダーが入った「翠巒」や「撃滅」も演じていました。

ある意味で応援の型は伝統芸みたいなもの。本来であれば確実に伝承すべきなのですが、ご承知のとおりエールひとつにしても今と昔の差は歴然、「たかさ・きー」はOBから合わせづらいという声もちらほら聞きます。応援部OB会の課題です。

特に90期以降の社会人OBの皆さんは、翠巒祭で応援リーダーを披露する「リーダー公開祭」をご覧になり、現役部員へアドバイスをいただくと幸いです。

最後に、硬式野球に限らず、サッカー、ラグビー、屋内スポーツなど各種大会への応援部応援要請をしていただき、活動の場を拡げて下さいますよう運動部顧問先生方へお願い申し上げます。また、OB会員の皆様には、応援団旗を支えるポールや革ベルトなどの修繕費や、今後の活動の拡がりでは応援会場への移動費などの補助も必要になるかと思えます。保護者が絶対発足しないであろう、できて欲しくない運動部のOBとして今後も物心両面での支援の程何卒宜しくお願い申し上げます。



[秋山会長から藤倉校長へベルト寄贈]



[1月13日 新年総会・懇親会]



**卓球部**

堤 康高  
(71期)

卓球部OB会の年間行事は、夏冬2回の現役生との交流試合と秋のゴルフコンペ、そして新年会がここ数年定番になっています。

卓球は個人競技なので団体競技のOB会のように「翠巒クラブ」というチームはありませんから、OB会としての活動とは言えませんが、個別に卓球を続けているOBは多くいます。群馬県には61期の針谷先輩が理事長を務める「群馬県卓球ベテラン会」があります。年間主催する大会が13回を数える全国的にも稀な組織ですが、30歳以上の卓球愛好家なら誰でも参加できますので高卓球部のOBも10名前後参加しています。5月の世界卓球とは比べ物にはなりません、県外の強豪の参加も増えていますので勝つのは大変です。

還暦を過ぎた面々が、ドライブやスマッシュを打ち合う姿を見るとベテラン会の基本理念「卓球は生涯スポーツ」なんだなとつくづく思います。

また、今年は61期の先輩方が卒業50周年を記念して、現役生のために卓球台を1台寄贈しました。他のクラブに負けられないような好成績に繋げていただければと思います。

**情報システム株式会社**

榊原 一好

(バスケット部 79期)

本社 〒370-0032 群馬県高崎市宿大類町1461番地1  
TEL.027-350-1277(代) FAX.350-1278

**株式会社 塚本工務店**

塚本 浩史

(バスケット部 99期)

本社 〒375-0024 群馬県藤岡市藤岡1848-1  
TEL.0274-23-1212(代) FAX.0274-24-2300

富崎白衣大観音 高野山別格本山 **慈眼院**

住職 橋爪 良真

(バスケット部 75期)

高崎市石原町2710-1 TEL.027-322-2269  
http://www.takasakikannon.or.jp/



[61期卒業50周年記念で卓球台を寄贈]



**柔道部**

志田 登  
(82期)

柔道部OB会は、毎年1月3日に、高崎高校柔道場においての新年初稽古を行い、その後、市内のホテルに会場を移し、新年総会を実施しています。近年の新年初稽古及び新年総会では、翠巒体育第29号においても報告させていただきましたが、鳥居先生(73期)の指導を受けた若手OBの参加が増えてきているのが特徴となっています。その若手OBの中には、高校卒業後においても柔道を続け、活躍した者もあり、そのようなOBの参加はとて頼もしいものとなっています。その一方、70期代後半から90期代前半のOBの出席者が少なくなっており、同様に卒業後に柔道を続けなかったOBの出席者も少なく、今後は、そのような方々にOB会に参加していただくことが柔道部OB会の課題となっています。皆さんの身近に高高柔道部のOBがいて、OB会に参加していないようでしたら、その柔道部OBに今も変わらず1月3日に柔道部のOB会は実施されていることを伝えていただくと共に、OB会に参加するよう促していただければ幸いです。よろしくお祈いします。また、近年は、鳥居先生を除き、今井孝造先生をはじめとするご指導をいただいた恩師の先生のご出席をいただけないのがとても残念と感じられます。

さて、新年総会では、毎年の恒例により現役選手に抱負を述べさせ、また、OBには近況報告を行っていただく時間をとっています。各OBの近況報告は期別に行っているのですが、先輩からの質問があったり、また、近況の報告をする時間よりも高高柔道部在籍時の話をする時間を多くして、当時は先輩を前にして言えなかったことなどを話すOBもいたり、大いに盛り上がり、予定の時間についても恒例によりオーバーいたしました。



**ソフトテニス部**

田口 恵一  
(74期)

平成22年度、恒例のOB会は8月21日(土曜日)に開催しました。昼の部は現役とOBの親善試合を高高テニスコートにて行いました。108期3名、104期4名、102期・100期・98期それぞれ1名は

現役相手に熱戦を繰り返しました。78期原田さん68期丸山会長(教員ペア)は、さすが指導者。所々に往年の素晴らしいショットを繰り出していました。72期木村先輩と74期私は無理をせず見学。しかし好天に恵まれ素晴らしい時を過ごせました。



[昼の部 現役とOBの親善試合]

夜の部は通町萬嵐にて、総会及び懇親会をおこないました。51期柳先輩は鴻巣から、63期大沢先輩は浦和から毎年参加されてくださりありがたく思っています。58期嶋田先輩、63期下山先輩、66期吉川先輩、68期丸山会長、72期木村先輩は夜の部を盛り上げていただきました。顧問井坂先生、74・75・85・98・102・103期各1名、合計15名と去年より参加者が少なく残念でした。しかし、平成23年高校総体高高個人ペア優勝と現役が頑張っていますので、OB会も頑張っていきます。



[夜の部 総会・懇親会]



**水泳部**

伊藤 祐司  
(75期)

水泳部OB会は、丸山博先生が面倒をみてくれた73期から数年間のOBを中心に毎年新年会をやっています。今年は1月8日にやり、10数人が参加しました。

丸山先生は、前橋南高校の副校長を最後に今年退職されました。退職を祝う会をやろう、という話になりました。水泳は、1980年代には高校の部活動中心からスイミングクラブ中心になってしまい、それ以降の若いOBとの接点取りにくいのが悩みですが、これを一つの契機にして、OB会の活性化をすすめたいと話合っています。

**秋山土地開発株式会社**  
代表取締役 秋山 賢治  
(応援部OB会 会長 74期)  
藤岡市中大塚223番地1 TEL.0274 (24) 3911

『自分らしい、いい就職』を「ふるさとで働く」を応援します。  
**就活応援団**  
www.shukatsu-ouen.jp  
TEL 027・310・2080 (81期・応援・藤井)

**RISE® ライズ総合保険**  
損害保険・生命保険はお任せ下さい!  
富田 和弘  
(応援部 85期)  
〒370-0044 群馬県高崎市岩押町25-18 TEL 027-322-2364



バスケットボール部

塚本 浩史  
(99期)

日頃よりOB諸兄をはじめ、関係各位には大変お世話になっております。バスケットボールに限らず、高校生活において部活動やスポーツを取り巻く環境が大きく変化している中で、OB会としても多角的に現役を支援する活動をしております。

現役生が直面する文武両道を謳歌する難しさと、新しいことに取り組む勇気と努力は、現役生の将来における社会生活の糧となると信じ、OB会としては各方面にて活躍されている諸先輩方により講演会、毎年恒例の現役メンバーとの交流試合などを開催して参りました。今後も若いOBの意見も取り入れチームの更なる飛躍に貢献したい所存です。



【熱くバスケット道を語る岩田OB(53期)】



【熱心に講演に聴き入る現役とOB】

え、8月に開催される全国クラブカップ大阪大会の出場権を獲得しましたので、日々の練習と練習試合を重ねて一昨年の全国ベスト16という成績を超えられるように臨んでいきます。

昨年度、現役バレー部は12年ぶりにインターハイに出場することができました。インターハイ出場に際しまして、バレー部OBの方々をはじめ、高海のOBの方々、その他大勢の方々に多大なご支援とご協力いただきましたことを、この場をお借りしまして心より御礼申し上げます。また長年バレー部の顧問であった塚本先生の教頭昇任に伴い、今年度より翠巒クラブのメンバーでもある柴山俊広先生(103期)が顧問に就任いたしました。翠巒クラブとしまでも柴山先生と協力しあい、練習試合を中心に現役生を支援していきたいと思っておりますので、今後ともご協力を宜しくお願いたします。



【平成23年度群馬県六人制クラブカップ選手権大会】

《高崎高校運動部の活動報告》

先輩がんばってます



バレーボール部

武山 雄海  
(102期)

平成23年1月3日にバレーボール部OB会の新年会が開かれました。近年では恒例となっているこの会ですが、今年はいつも参加していただいている方々だけではなく100期代の若手も多く参加していただい、近状報告や現役時代の話などで年代の垣根を越えて、大いに盛り上がることができました。また、本年度より菊地俊二会長(52期)から原到会長(78期)へとバトンが渡されることもあり、新年会では原会長を先頭にバレーボール部OB会をより一層活性化していこうということで、OB会の意思統一を図ることができました。OB会としての体制の強化、現役生の支援、翠巒クラブの活動などを中心に、様々な年代が協力し合い、盛り立てていきたいと思っております。

高海バレー部OBを中心に構成されている翠巒クラブは、昨年度はメンバーの生活環境の変化による練習不足もあり、群馬県の代表として全国級の大会には出場できませんでした。しかし、クラブカップ関東大会では選手不足の中、3位に入賞することができました。本年度は、すでにクラブカップ群馬県予選も終



山岳部

塚越 智仁

私達山岳部は、現在3年生4名、2年生10名、1年生11名の計25名で活動をしています。

平日は観音山のマラソンコースを走ったり、ロッククライミングを行ったりして体力作りに励んでいます。土・日には、県内の山を中心に、月1回のペースで登山に行っています。もちろん、総体に対する練習も怠ってはいません。設営の練習や読図、ペーパーテスト対策、バックアップの練習についても随時行っています。

昨年度の総体では、1、2位に大きく点を離されましたが、今年度こそは優勝を目指し、部員全員が一丸となって練習に取り組んでいきたいと思っております。応援よろしくお願いたします。

御宴会、慶弔のお席、同窓会、PTA、趣味のお集まり等に...

刺ま魚件

取締役社長 羽鳥 修司 (卓球部・63期)  
高崎市九蔵町17 TEL 027-322-2428  
FAX 027-326-7070



株式会社 システムハウス

代表取締役 堤 康高 (卓球部71期)

群馬県高崎市栄町15-9 きむらビルII4-B  
TEL 027-327-8451 FAX 027-327-8480  
URL <http://www.sysh.jp/>

株式会社大陸不動産

代表取締役 山口 正敏  
(卓球部・58期)

高崎市宮元町108番地 TEL.027-322-4031



**硬式野球部** 櫻井 慎也

我々硬式野球部は、境原先生、關根先生、島田先生、遠山先生のご指導のもと、日々全力で練習に取り組んでいます。強豪校に比べて、練習時間や設備は劣りますが、境原先生の鬼ノックやユーモアあふれる変わったバッティング練習と時間の有効活用、どんな時も野球に繋がると考える精神で、個々の能力、チーム力の向上に励んでいます。また、野球だけに触れるだけでなく、沢山のスポーツ、芸術に触れ、闘志を肌で感じたり、豊かな感情を育んだり、どんな所でも「バカ」になれるぶれない気持ちを持つため、精神の向上にも励んでいます。

自分達は自分達の力を信じています。熱心に指導して下さる先生方、いつも支えてくれる家族など様々な人に感謝して、一つ一つ勝ち進み、甲子園出場を成し遂げたいです。応援よろしくお祈いします。



**ラグビー部** 今村 拓也

我々ラグビー部は、現在3年13名、2年8名、1年12名の計33名で日々練習に励んでいます。新人戦では、4強に惜敗。その負けを受け、チームスタイルを改変して、小手先だけのラグビーから、完成度の高い全国に通用するラグビーをスタイルとして掲げ、花園出場を目標にチーム一丸となり努力しています。また、近年では減少傾向にあった部員も、今年は増加が見られ、2チーム構成出来るほどの人員に恵まれることとなりました。そしてその全員が高高ラグビー部の誇りを胸に文武両道を根底とし、充実した高校生活を送っています。OBの皆様の日々の御支援に心より感謝すると共に、御期待に答える結果を残し、全国に名を轟かせるよう頑張りますので、今後とも応援宜しくお願いします。



**バドミントン部** 須藤 卓馬

私達バドミントン部は、3年生12人、2年生7人、1年生11人で活動しています。顧問の小野先生、市川先生の指導の下、団体戦では県ベスト4、個人戦ではベスト8を目指し、日々練習に励んでいます。強豪校に比べ、練習時間、場所、共に限られているため、工夫を重ねることで、より効率の良い練習をすることを意識して取り組んでいます。

昨年の大会は、悔いの残る結果となってしまいました。今年の総体、インターハイ予選では、日頃の練習で得た自信を胸に、悔いの残らないよう全力で闘うので、応援よろしくお祈いします。



**軟式野球部** 小平 雅也

私達軟式野球部は、3年生9人、2年生13人、1年生4人の計26人で活動しています。野球というスポーツを楽しむことをモットーに日々精進しています。また、昨年先輩方が果たした「関東大会出場」を受け継げるよう、そして仲間と少しでも長く野球を続けられるよう高校総体では持ち前の明るさやチームワークの良さをはじめとする今まで培ってきた全てを出し切りたいと思います。

これからも悔いの残らないよう精一杯頑張りますので応援よろしくお祈いします。



**応援部** 鈴木 慎哉

我々応援部は今年で六十代を迎え、日々高崎高校応援のため精進しております。昨年度、部員が1年3名と部の存亡の危機となっておりましたが、無事今年度は1年生が5名入り長き伝統が途絶えずに済んだ事を偏に喜んでおります。

応援部はこれまで、半世紀以上の歴史の中で常なる前進をして参りました。各集会時の校歌・翠巒指揮。運動部応援の他にも募金等奉仕活動。活動の幅は、まだまだ広げていけると考えております。私は高崎高校の発展の糧となる事こそ今の応援部に求められていることだと考えております。

愛校心を忘れずこれからも邁進していく所存で御座います。結びに、これまで御世話となりました緒先生方これからも変わらぬ御指導、御鞭撻の程宜しく御願い申し上げます。

伝統よ更に栄えあれ 押忍



**スキー・スケート部** 山田 駿

私達スキー・スケート部は現在2年生2人で活動しております。活動内容は、冬は高校総体などの大会に出場、夏は各自で陸上トレーニングを行っています。いわゆる「学校の部活」という感じではありません。しかし、他の部活の様な拘束は無いので、独自の方法で自分の掲げた目標に向けてアプローチすることができます。コーチ、練習メニュー、練習時間、練習場所など全てにおいて自分で決めます。私はこの自由な選択ができる環境こそが自分にとってのアドバンテージになっていると思うのです。いざという時に「~させられている」という意識で練習してきた人と、私達の様に自分で判断して進んできた人とは、スタートに立った時の自信が違うからです。

このアドバンテージを活かして、来年はインターハイ、国体、高校選抜での上位入賞を果たしたいです。応援よろしくお祈いします。

**がんばれ、日本。がんばれ、東北。 祝 H23 総体個人優勝 関東大会 個人出場**

**がんばれ、高崎高校ソフトテニス部** ソフトテニス部OB会 会長 丸山 博(68期)



## 卓球部

宮原 丈太郎

私達卓球部は江原先生、内田先生のご指導のもと、日々練習に取り組んでいます。

私達の練習環境はあまり整っているものではありませんが、その中でどのようにすれば効果的か考えて練習をしています。

高前定期戦や高校総体ではあまり高崎高校には貢献できていません。しかし、今度の高校総体では団体入賞を果たし、高の役に立ちたいと思っています。「窮鼠猫を噛む」というように最後の試合では強豪校を倒してきます。悔いのないよう一球入魂で闘ってきたいと思ひます。

そして前橋高校のような広くて、滑らない卓球場を作ってもらえるよう頑張ります。応援よろしくお祈ひします。



## ソフトテニス部

黛 英伯

我々ソフトテニス部は、関東・全国で勝つことを目標に日々練習に取り組んでいます。練習時間が限られているため、ただボールを打っているだけでは練習時間の多い学校には勝ち目はありません。そのため、コートの中だけではなく外でも常に一人ひとりが勝つために必要なことを考え、行動しなければなりません。過去には全国三位になった先輩達いますが、その人達はおそらくそのようなことがしっかりとできていて、誰から見ても、「勝つチーム」に見えていたと思ひます。その人達がやっていたことは最低限やり、さらにそれ以上のことをしなければ、結果としてもチームとしても先輩達を超えることはできません。目標に向けて努力を重ね、後輩に目標とされるチームにしていきたいです。



## バスケットボール部

中島 一樹

私たちバスケットボール部は、3年生8名、2年生8名、1年生8名の計24名で、顧問の長竹先生、坂本先生のご指導の下、日々練習に励んでいます。「勝ちたい」その一心で、厳しい練習も、チーム全員で支えあいながら

やってきました。

これから行われる総体やインターハイ予選では、チーム全員の心一つに、一戦一戦全力で戦っていきたく思ひます。そして、目標である、関東大会、インターハイ出場を成し遂げたいと思ひています。

顧問の先生方やOBの方々、保護者の方々への感謝の気持ちを忘れずに、これからも精進していくので、応援よろしくお祈ひします。 いざ、戮力協心。



## 剣道部

山崎 真

我々剣道部は、顧問の渡辺先生、斉藤先生のご指導の下、3年生4名、2年生8名、1年生3名の計15名で日々稽古に取り組んでいます。

限られた稽古時間の中で、「強い剣道」ができるようになるために、先生・先輩方の教えを理解し、自分たちで工夫し、今している稽古の充実を図っています。そして、「不撓不屈」の精神で「強い剣道」を実践し、群馬県代表を目指しています。

顧問の先生やOBの方々、保護者の方々をはじめとする多くのの方々への感謝の気持ちを忘れずに、そして、日々稽古ができることを幸せに思ひ、これからも精進していきます。

これからも、応援よろしくお祈ひします。



## 陸上競技部

長壁 拓郎

私達陸上競技部は、顧問の田島先生、津久井先生、安田先生のご指導の下、3年生24名、2年生16名、1年生22名の計62名で日々の練習に励んでいます。限られた時間の中で、いかに効率よく練習し、その効果を最大に得られるかを考えながら各々の目標に向かって努力を重ねています。また今年度はインターハイや関東大会などの大会を経験した者が練習を引っ張り個人だけではなくチーム全体としてのレベルの向上を図りました。なので、一人でも多くがインターハイ、関東大会に出場し、一人でも多くが自己ベストを更新できるように抜け目なく、きっちりとした準備をしてみんなで闘ってきますので、ご声援のほど宜しくお祈ひします。



## 空手道部

澁谷 隼人

今年度、我々空手道部は学校の方針により更なる自立心を求められる年となりました。今まで顧問の先生方や保護者の方々の協力が当然だと思っていた事を反省し自分達で出来る事を考え行動していきたいと思ひます。そして伝統ある高崎高校で空手道が出来る事を感謝し、今後更に良い結果が残せるように顧問の遠山先生、下田先生、新井先生のご指導の下「心機一転」部員一同、基本に忠実に頑張りたいと思ひます。またOBの方々や沢山のの方々大会会場で激励の言葉を頂きとても感謝しています。今後も空手道や社会生活の面でもご指導の言葉を頂けたら嬉しく思ひます。高崎高校空手道部発展の為、応援よろしくお祈ひします。

真木会 真木病院 高崎PET総合画像診断センター  
ガンの早期発見のためにペットドックを

高崎市筑縄町71-1 ☎027-361-8411

永尾 俊弘 (水泳部 70期)

真木 武志 (バスケット部 72期)



**サッカー部** 高木 謙

私たちサッカー部は、現在3年生27名、2年生25名、1年生29名の計81名で活動しています。強豪校よりも少なくなってしまう練習時間の中で工夫し、質の高いものにし、群馬県優勝、さらに関東・全国大会へと目標を高く持ちたいと思います。

またサッカーでの目標を達成することと同時に、挨拶や礼儀などの当たり前なことがしっかりでき、社会に出たときに通用する人間形成も行っています。

これからチーム力をより向上させ、目標を達成できるように、全力で取り組んでいきますのでこれからも応援よろしくお願いします。



**柔道部** 小澤 航太

私達柔道部は、現在3年生6名、2年生2名、1年生3名の計11名で日々の練習に精進しています。今年から新顧問として田中先生を迎え、柔道部は新体制の下、日々技術の向上に努めて練習に励んでいます。また他の強豪

校と呼ばれる学校と比べると、比較的練習時間は少ないですが、その中でどこまで意識を高く持ち練習を充実したものにするか、ということをご各自が考えながら取り組んでおり、練習は常に活気に満ちています。今年の総体やインターハイ予選では、自分達の力を信じて一戦一戦優勝を目指し全力で戦い、高崎高校の名を全国に馳せていきたいと思ひます。顧問の先生やOBの方々、保護者の方々への感謝の気持ちを忘れず部員一丸となり頑張りますので応援よろしくお願いします。



**バレーボール部** 砂川 智哉

我々バレーボール部は、顧問の柴山先生、加邊先生のご指導の下、3年生10名、2年生7名、1年生8名で構成され、日々練習に励んでいます。大会では良いところまで行きながらなかなか優勝できず、新人戦決勝では、先に

マッチポイントを取っておきながら大逆転負けを喫するという、本当に悔しい思いをしました。

これから行われる総体やインターハイ予選では、25人全員の心をつなげて、今度こそは優勝するつもりです。また、挨拶や礼儀など人間として大切な事をこれからも学び、高高バレー部の伝統を守っていきたく思ひます。そして、部員全員がそれぞれの役割をしっかりと自覚し、ひとつでも多くの勝利を目指して頑張るので、応援よろしくお願いします。



**テニス部** 宮本 純平

現在硬式テニス部は、3年19人、2年19人、1年11人で活動し、団体戦でベスト4に入ること

を一番の目標として一日一日を大事に練習しています。しかし団体戦では4回連続でベスト8と、なかなかその壁を越えられず、また、すでに行われた総体の個人戦では出場選手全員が1回戦負け、と全員が苦汁を嘗める結果となってしまいました。ほとんどの3年生が引退してしまったこの時期は、練習に少し盛り上がりの欠けるところもありますが、一人一人が意識を高くし、全員でモチベーションを上げ、最後の調整の段階です。今回の総体はベスト4、そして関東大会出場を目指し、今までの悔しさ、引退した仲間たちの思いを胸に高高代表として戦ってきますので応援よろしくお願いします。



**水泳部** 下田 昌範

現在、水泳部の構成人数は3年生7名、2年生2名、1年生6名の計15名です。少し前まで絶滅危惧種といわれていたのが嘘のよう

です。顧問ですが、相も変わらず前田大先生の御指導を受けております。部員は、中にはスイミングスクールに通っている者もありますが、ほとんどは学校で活動しています。「学校にプールがある」という長所を生かし、部員全員が自己ベストを更新できるようにしたいと思ひています。去年はリレー、個人共に関東大会まで出場できたものの、惜しくもインターハイ出場を逃してしまいました。しかし今年こそは関東大会で留まることなく、本気でインターハイ出場を目指して頑張りたいと思ひていますので、応援よろしくお願いします。



**弓道部** 佐藤 秀樹

我々弓道部は、3年生1名、2年生15名、1年生1名で日々練習をしています。毎日の練習を効率よく、より質の高いものにしていくこと

で、技術面、精神面共に成長をしてきました。また一人一人が自分の目標を持ち、それに向かつて努力することで、部活全体の活気や雰囲気さがさらによいものになってきています。これからは、さらに修練を積み、関東大会出場、そしてその上位に入れるようにしていきたいです。顧問の先生やOBの方々、保護者の方々などへの感謝の気持ちを常に持ち、これからも精進していきたいと思ひます、さらなる部の発展を目指して頑張りますので、応援よろしくお願いします。



高崎高校 陸上部 OB会 会長 木村隆一 (74期)

陸上部OB会ホームページ開設しました。  
<http://sports.geocities.jp/takatakarikujouob/index.html>

# 平成22年度 運動部活動状況

## 卓球部

国体予選  
宮原丈太郎 ベスト64  
強化大会  
シングルス 宮原丈太郎 ベスト64  
新人大会  
団体 1回戦 3-0 万 場  
2回戦 0-3 前 橋  
個人 シングルス 宮原丈太郎 ベスト64

## バレーボール部

インターハイ県予選  
3回戦 2-0 太 商  
準々決 2-0 藤中央  
準決勝 2-0 伊 商  
決 勝 2-1 伊勢崎 優勝  
(インターハイ出場)  
西毛地区大会  
2回戦 2-0 榛 名  
準決勝 2-0 高 工  
決 勝 2-0 高 北 優勝  
新人大会  
1回戦 2-0 伊市高  
2回戦 2-0 渋 川  
準々決 2-0 県 央  
準決勝 2-1 伊勢崎  
決 勝 1-2 桐 商 2位  
全国選抜県予選  
3回戦 2-0 館商工  
準々決 2-0 桐 生  
準決勝 1-2 桐 商 3位

## ソフトテニス部

関東大会  
団体 2回戦 1-2 秦野(神奈川)  
個人 深堀・黛組 3回戦  
蛭間・池田組 2回戦  
新嶋・有川組 1回戦  
奈良・中島組 1回戦  
インターハイ県予選  
団体 2回戦 3-0 新田曉  
3回戦 2-0 中之条  
4回戦 0-2 農 二 ベスト8  
個人 奈良・中島組 ベスト16  
岸・高橋組 ベスト16  
夏季大会  
個人 深堀・黛組 ベスト8  
新人大会  
団体 2回戦 3-0 桐 生  
3回戦 2-0 前 橋  
4回戦 0-2 高 商 ベスト8  
個人 奈良・中島組 ベスト16  
全国選抜県予選  
団体 2回戦 2-1 館商工  
3回戦 2-0 伊市高  
4回戦 1-2 前 商 ベスト8

## 空手道部

インターハイ県予選  
団体組手 5位  
個人組手 田中郁也 ベスト16  
澁谷隼人 ベスト16  
新人大会  
個人組手 澁谷隼人 5位  
個人形 澁谷隼人 ベスト16

## 柔道部

関東大会 団体戦出場  
インターハイ県予選  
団体 2回戦 4-0 伊 工  
3回戦 5-0 利 商  
準々決 3-1 樹 徳  
準決勝 1-3 前 商 ベスト4  
県新人大会  
団体 2回戦 4-0 勢 農  
準々決 4-0 前 工  
準決勝 0-3 前 商 ベスト4  
全国高校選手権大会県予選  
団体 2回戦 4人残し 青 翠  
準々決 3人残し 高 商  
準決勝 3人残し 育 英 ベスト4  
個人 90kg級 渡辺正樹 3位  
無差別 角田裕祐 準優勝  
県学年別大会  
個人 二学年の部 角田裕祐 優勝  
第92回 全国高等学校野球選手権 群馬大会  
2回戦 8-10 樹 徳  
秋季関東大会 県予選  
2回戦 0-2 桐 商  
春季関東大会 県予選  
2回戦 13-6 桐 南(7回コールド)  
3回戦 7-6 興 陽  
4回戦 4-3 利根実  
準々決 6-4 高 商  
準決勝 3-9 樹 徳 ベスト4

## 水泳部

関東高校県予選  
100m自 柳 義裕 7位  
200m自 柳 義裕 3位  
200m個メ 神原孝行 2位  
400m個メ 神原孝行 2位  
400mR 神原・柳・下田・関口 4位  
400mメR 柳・下田・神原・関口 5位  
(以上の種目は関東大会出場)  
県総体  
100mバ 柳 義裕 5位  
200mバ 柳 義裕 3位  
200m個メ 神原孝行 2位  
400m個メ 神原孝行 2位  
400mR 神原・柳・下田・関口 4位  
800mR 柳・神原・関口・堀込 5位  
400mメR 柳・下田・神原・関口 5位  
男子総合第5位  
新人大会  
50m背 山崎雄哉 1位  
100m背 山崎雄哉 3位  
50m背 若山工雄 4位  
100m背 若山工雄 4位  
50mバ 堀込怜士 3位  
100mバ 堀込怜士 3位  
200mR 若山・堀込・山崎・上原 2位  
200mメR 若山・山崎・堀込・上原 2位

## 軟式野球部

第58回春季関東高等学校軟式野球大会  
(茨城県龍ヶ崎市)  
1回戦 0-4 早稲田実業(東京)  
全国高等学校軟式野球選手権大会 県予選  
2回戦 1-5 太 田  
秋季関東高等学校軟式野球大会 県予選  
1回戦 1-2 太 田  
(延長11回)

## ラグビー部

一年生大会  
合同の部 1勝2敗で3位(44チーム中)  
高校選手権大会  
予選リーグ  
150-0 安総合  
64-5 興 陽  
決勝トーナメント  
1回戦 71-5 桐 一  
準々決 0-17 太 田 ベスト8  
新人大会  
2回戦 85-12  
(前商・興陽・桐工合同チーム)  
準々決 12-26 太 田 ベスト8  
7人制大会  
準々決 0-49 農 二 ベスト8

## 剣道部

全国高校総体県予選  
2回戦 3-0 新 島  
3回戦 4-0 太 東  
4回戦 1-4 前 橋 ベスト8  
学校対抗選手権  
2回戦 0-2 沼 田  
学年別大会  
1年生の部 戸塚貴昭 ベスト8  
新人戦  
1回戦 4-0 桐 南  
2回戦 1-2 常 磐

## テニス部

インターハイ県予選  
団体 16校出場  
1回戦 3-0 高 東  
2回戦 0-2 共 愛 ベスト8  
個人 シングルス 柴山正輝 ベスト8  
角田峻太郎 ベスト8  
大谷 徳 ベスト16  
ダブルス 角田・金井組 ベスト16  
新人大会  
団体 2回戦 5-0 桐 生  
3回戦 3-1 健大高  
準々決 0-3 中央中等 ベスト8  
個人 シングルス 磯貝修平 ベスト16  
ダブルス 宮本・磯貝組 ベスト16

## 山岳部

国体県予選  
少年男子 磯部いの八 3位

## スキー・スケート部

全国高等学校選抜スキー大会  
増村賢人 GS・SL 出場  
関東高等学校スキー大会  
山田 駿 SL 8位  
増村賢人 SL 12位・GS 17位  
高校総体スキー競技会兼全国高等学校スキー大会県予選  
山田 駿 SL 4位  
増村賢人 GS 15位  
全国高等学校スキー大会(インターハイ)  
山田 駿 SL 出場

## 陸上競技部

関東高校大会(笠松)  
200m 齋藤郁磨 予組7位  
800m 古市真也 予組1位  
" " 決 3位  
5000m 関口頌悟 決 12位  
110mH0 市川響太郎 予組3位  
" " 準組5位



5000mW	須田貴士	決	3位
4×100mR	東間、田代、齋藤、市川	予	5位
4×400mR	田代、齋藤、古市、長壁	予	5位
走高跳	大澤佑太	決	16位
棒高跳	市川響太郎	決	2位タイ
砲丸投	櫻井奏人	決	17位
円盤投	櫻井奏人	決	23位
やり投	原 義明	決	11位
八種競技	関口俊介	決	12位

男子総合成績 第10位

群馬県選手権大会

800m	川上 航	決	5位
〃	一木悠太	決	6位
〃	古市真也	決	7位
1500m	古市真也	決	6位
5000m	関口頌悟	決	3位
3000mSC	石原 翔	決	4位
〃	金井美海	決	5位
5000mW	須田貴士	決	2位
〃	佐藤誠一郎	決	4位
棒高跳	市川響太郎	決	7位
4×400mR	真鍋、田代、関橋、古市	決	5位

(上記のべ11種目で関東選手権大会出場)

全国高校総体 (沖縄)

800m	古市真也	予組	6位
5000mW	須田貴士	予組	12位
棒高跳	市川響太郎	予組	14位

県高校新人大会

1500m	川上 航	決	1位
〃	吉野順久	決	2位
5000m	牛窪浩平	決	1位
〃	小林水友	決	3位
110mH	市川響太郎	決	3位
5000mW	佐藤誠一郎	決	1位
4×100mR	東間、田代、齋藤、市川	決	2位
4×400mR	田代、齋藤、関口、長壁	決	2位
棒高跳	市川響太郎	決	2位
走幅跳	齋藤郁磨	決	2位

(上記のべ10種目で関東選抜新人大会出場)

第65回国民体育大会 (千葉)

少年B110mJH	市川響太郎	決	6位
-----------	-------	---	----

(全国入賞)

県高校駅伝

総合成績 第4位

(11年連続関東高校駅伝出場権獲得)

関東高校駅伝 (熊谷)

総合成績 第23位

新人駅伝競走大会

総合成績 第4位

サッカー部

インターハイ県予選

1回戦	1-0 桐 生
2回戦	3-0 太 商
3回戦	1-0 高経附
4回戦	0-3 育 英

ベスト16

高校選手権 決勝トーナメント

1回戦	1-1 共 愛
-----	---------

(4PK5) ベスト16

新人戦

3回戦	1-3 桐 一
-----	---------

ベスト16

バドミントン部

インターハイ県予選

1回戦	2-0 西邑染
2回戦	0-2 新 島

県高校生大会

シングルス 中島 ベスト16

新人戦

個人	シングルス 大竹	ベスト32
	ダブルス 大竹・今井組	ベスト64
団体	1回戦 3-1 渋 川	
	2回戦 1-3 中央中等	

バスケットボール部

群馬県高等学校バスケットボール選手権大会  
兼第63回全国高等学校総合体育大会県予選会

1回戦	95-24 前 工
2回戦	102-22 尾 瀬
3回戦	66-59 中央中等
準々決	54-119 育 英 ベスト8

全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会県予選会

2回戦	81-61 沼 田
3回戦	103-86 太 工
4回戦	89-58 太 田
準々決	66-98 桐 一 ベスト8

西毛地区バスケットボール新人大会

2回戦	89-44 健大高
3回戦	95-38 高 東
準決勝	97-70 中央中等
決 勝	86-93 高 商 2位

群馬県高等学校バスケットボール新人大会  
兼関東高等学校バスケットボール新人大会県予選会

1回戦	54-45 館 林
2回戦	98-28 大 泉
3回戦	76-47 太 田
準々決	81-84 太 東
下位決	74-65 樹 徳
5位決	84-101 前 商 6位

第46回高校総体  
成績一覧 (平成23年)

総合順位 2位

バレーボール部

3回戦	2-0 藤中央
準々決	2-0 伊 商
準決勝	2-0 高 北
決 勝	2-1 桐 商 優勝

(関東大会へ)

ソフトテニス部

団体	2回戦 3-0 伊 工
	3回戦 2-0 前 橋
	4回戦 0-2 健大高 ベスト8
個人	深掘・黛組 優勝

(個人関東大会及びハイスクールジャパンカップへ)

柔道部

柔道	
団体	2回戦 3-1 沼 田
	準々決 2-1 樹 徳
	準決勝 0-4 前 商 ベスト4
個人	渡辺正樹 3位
相撲	決勝リーグ
団体	4-1 樹 徳
	4-1 青 翠
	0-5 富 岡 3位
個人	渡辺正樹 準優勝

サッカー部

2回戦	1-1 渋 川
	(4PK2)
3回戦	9-0 桐 工
4回戦	1-0 高 北
準々決	1-0 伊 商
準決勝	1-2 桐 一 ベスト4

剣道部

1回戦	5-0 館 林
2回戦	2-3 高 北

テニス部

団体	2回戦 3-0 桐 生
	3回戦 0-2 渋 川 ベスト16

空手道部

団体組手	1回戦 4-0 高 東
	2回戦 3-0 桐 生
	準々決 2-3 商大附 5位
個人組手	澁谷隼人 5位
個人形	牧 洸大 ベスト16

学校対抗総合7位

バドミントン部

個人	シングルス 田中	ベスト64
	今井	ベスト64
団体	1回戦 2-0 前 商	
	2回戦 0-2 清 明	

弓道部

ベスト16

軟式野球部

1回戦	3-0 館 林
準々決	13-6 前 工
	(8回コールド)
準決勝	0-2 太 田
	(延長13回) ベスト4

(第59回春季関東高等学校軟式野球大会に出場)

陸上競技部

100m	東間央剛	決	3位
200m	齋藤郁磨	決	4位
110mH	市川響太郎	決	2位
3000mSC	石原 翔	決	4位
5000mW	佐藤誠一郎	決	1位
4×100mR	東間、市川、齋藤、高橋	決	5位
4×400mR	田代、齋藤、関口、長壁	決	2位
走高跳	岡田大樹	決	5位
棒高跳	市川響太郎	決	2位
走幅跳	齋藤郁磨	決	1位
三段跳	阪本哲郎	決	2位
砲丸投	櫻井奏人	決	5位
やり投	田代和也	決	4位
八種競技	田代和也	決	1位
〃	関口俊介	決	3位

男子総合成績 第3位

バスケットボール部

1回戦	86-27 渋 工
2回戦	78-46 新 島
3回戦	103-66 沼 田
準々決	109-80 高 商
準決勝	66-102 桐 一
3位決	80-94 前 商 4位

山岳部

7位 (関東開会へ)

卓球部

団体	1回戦 1-3 太 東
個人	シングルス 宮原丈太郎 ベスト32

ラグビー部

1回戦	31-15 前 橋
準々決	19-36 県 央 ベスト8

翠巒体育会役員名簿

(平成 23. 6. 22)

役職	氏名	期	運動部名	電話
会長	高橋 浩生	78	バレーボール	
副会長	藤木 正行	69	剣道	
〃	秋山 賢治	74	応援	
〃	清野 哲雄	74	サッカー	
〃	木村 隆一	74	陸上競技	
〃	清水 正一郎	75	硬式野球	
〃	内田 美樹	77	ラグビー	
〃	松本 基志	77	山岳	
〃	榊原 一好	79	バスケットボール	
〃	志田 登	82	柔道	
〃	北村 真行	85	テニス	
〃(情報部長)	堤 康高	71	卓球	
〃(編集局長)	田口 恵一	74	ソフトテニス	
〃(会計)	永尾 俊弘	70	水泳	
〃(監査)	吉井 章一	78	山岳	
〃	福島 早人	77	ラグビー	
〃	清水 元	91	硬式野球	
顧問	國峯 善次郎	50	サッカー	
〃	岩田 武雄	53	バスケットボール	
〃	山口 正敏	58	卓球	
〃	原 到	78	バレーボール	
〃	岩丸 高明	82	〃	
〃	坂本 弘	87	〃	
〃	小池 政一	77	剣道	
〃	浦野 英孝	77	〃	
〃	滝野 修司	86	〃	
〃	関口 茂樹	63	柔道	
〃	庭田 登志男	68	〃	
〃	伊藤 俊一	92	〃	
〃	谷 一行	70	陸上競技	
〃	波多野 重雄	77	〃	
〃	永井 正樹	80	〃	
〃	今村 孝之	80	ラグビー	
〃	黒石 康暢	81	〃	
〃	斎藤 全賢	75	水泳	
〃	須藤 聡	78	〃	
〃	角倉 信久	69	卓球	
〃	羽鳥 広平	104	〃	
〃	木村 芳之	72	ソフトテニス	
〃	石田 和久	75	〃	
〃	浦野 克彦	78	〃	
〃	鈴木 伸生	80	応援	
〃	國峯 賢一	74	サッカー	
〃	安藤 英彦	86	〃	
〃	小林 均	77	硬式野球	
〃	赤沢 正喜	84	〃	
〃	清水 威	85	〃	
〃	田中 正宏	79	バスケットボール	
〃	佐藤 弘之	81	〃	
〃	斎藤 英敏	83	テニス	
〃	長谷川 泰三	83	〃	
〃	松本 潔志	84	〃	
〃	吉田 茂司	77	山岳	
〃(事務局)	富田 和弘	85	応援	
〃(編集委員)	伊藤 祐司	75	水泳	
〃	吉井 章一	78	山岳	
〃	梅澤 義宣	81	サッカー	
〃	志田 登	82	柔道	
〃	橋爪 洋介	85	卓球	
〃	小池 政一	77	剣道	
〃	飯島 雅年	78	ラグビー	
〃	吉井 剛	80	硬式野球	
〃	藤井 正弘	81	応援	
〃	浜名 和也	84	テニス	
〃	木村 晴彦	87	ソフトテニス	
〃	茂原 賢三	89	陸上競技	

役職	氏名	期	運動部名	電話
編集委員	塚本 浩史	99	バスケットボール	0274-23-0261
〃	武山 雄海	102	バレーボール	027-322-2364
事務局 局長	境原 尚樹	81	硬式野球	027-387-8687
事務局 事務	中村 健一	86	テニス	027-322-9580
〃	柴山 俊広	103	バレーボール	027-387-3877

学校側顧問				
校長	羽鳥 進一			
副校長	金井 尚之			
教頭	武藤 正美			
運動部長	田島 正徳			

バレーボール	柴山 俊広・加邊 一芳
剣道	渡辺 正一・斉藤 利男
柔道	田中 利明・西村 淳也
陸上競技	田島 正徳・津久井 俊明・安田 素彦
ラグビー	森田 達哉・新井 功・下田 信康
水泳	前田 敏明・萩原 克明・坂爪 誠
卓球	江原 悠一・内田 均
ソフトテニス	井坂 奨・澤田 徳彦・中川 浩之
応援	伊藤 信一・加藤 俊介
サッカー	笠原 恵太・新井 悟・菅根 秀朗・間々田 功
硬式野球	境原 尚樹・關根 秀仁・島田 学・遠山 聡
バスケットボール	長竹 潤・坂本 直之
テニス	中村 健一・岡田 準・中川 浩之・吉澤 正明
山岳	井上 貴智・手島 直樹・滝沢 憲一・安田 素彦
スキー・スケート	吉澤 正明・手島 直樹・滝沢 憲一・長竹 潤
弓道	柴山 俊広・關根 秀仁
空手	間々田 功・井田 夕子・池永 真孝
軟式野球	遠山 聡・下田 真志・新井 初代
バドミントン	田島 悦男・沼野 隆・茂木 豊
	市川 高幸・小野 智信

OB 会長名簿

運動部名	氏名	期	電話
山岳	清水 正爾	55	
硬式野球	川手 義昭	62	
柔道	関口 茂樹	63	
ソフトテニス	丸山 博	68	
剣道	藤木 正行	69	
水泳	永尾 俊弘	70	
応援	秋山 賢治	74	
サッカー	清野 哲雄	74	
陸上競技	木村 隆一	74	
ラグビー	内田 美樹	77	
バレーボール	原 到	78	
バスケットボール	榊原 一好	79	
テニス	小池 俊明	80	
卓球	橋爪 洋介	85	

第30号翠巒体育会会報 第2回編集会議 (平成23年6月6日・高崎ビューホテル)



◎ [田口・ソフトテニス・74期] 今年度より、学校側顧問が藤倉前校長から羽鳥新校長に、運動部長は境原先生から田島先生に替わられました。また編集局長も75期バスケットボール部橋爪さんから74期ソフトテニス部の田口にバトンタッチしました。全国の高校運動部OB会を調べてみますと、連合会はあってもほとんど各種運動部OB会の活動が主で、翠巒体育会の組織はまれであります。まして各種運動部の会報はあっても「翠巒体育」のような運動部OB会会報を出しているところは見あたりません。翠巒体育会をつくった先輩に感謝するとともにプレッシャーでいっぱいです。この「翠巒体育」を読んだOB・現役・保護者・先生方が少しでもそれぞれの活動に生かしていけますように、現役とOBの架け橋になりますように編集に務めていきます。